

赤系ブドウ「ゴルビー」の着色が向上する環状剥皮処理

環状剥皮処理により着色を向上できます

背景・目的

- 近年、地球温暖化の影響による夜温の上昇に伴い、ブドウの着色不良が問題となっています。
- 宮崎県内で栽培される大粒赤色ブドウ「ゴルビー」では着色不良がみられます。
- 「ゴルビー」の着色向上を目的に、環状剥皮処理を行いました。

成果の内容

- 満開45日後に2cm幅で主幹部に環状剥皮処理を行うことで果皮色および糖度が向上しました。

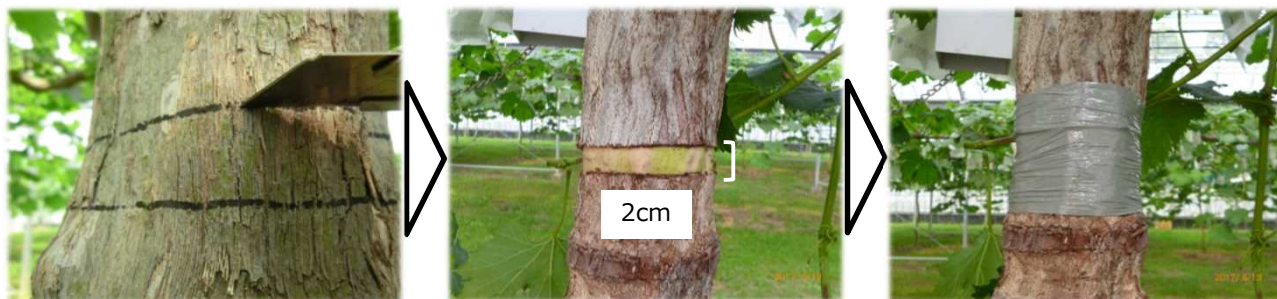


写真1: 環状剥皮処理

表: 環状剥皮による果実品質

処理区	果房重 (g)	糖度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)	果皮色 (c.c.)
2016年 環状剥皮区 (45日後)	601.4	19.1	0.32	4.4
無処理区	507.5	18.0	0.34	1.3
2017年 環状剥皮区 (45日後)	470.3	18.7	0.33	3.6
無処理区	408.0	17.7	0.40	1.5



写真2: 果房の色（上段：環状剥皮、下段：無処理）

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 着色良好な果房が栽培でき、品質が向上します。
- 普及対象地域・面積 西諸県および児湯地域 栽培面積 0.8ha

留意点

- 剥皮部位はテープで保護し、1ヶ月程度で除去します。
- 適正着果量を厳守します(6房 / m)。